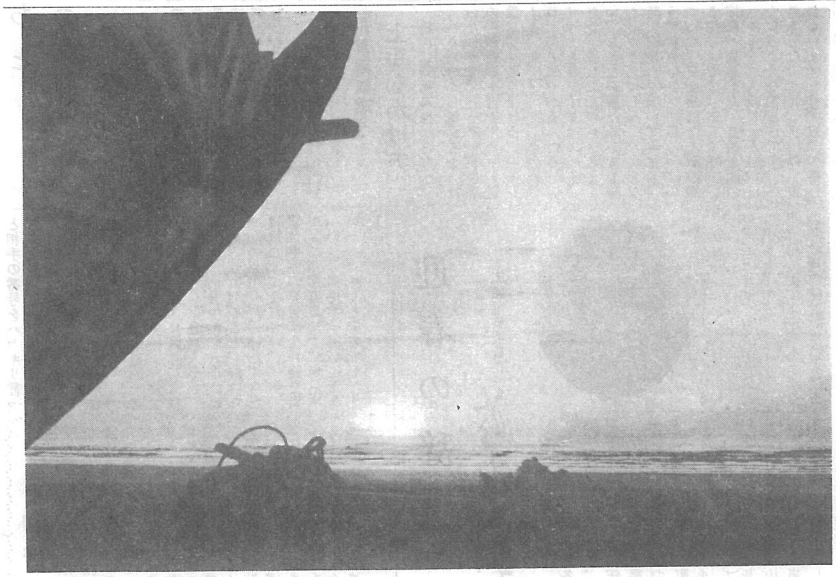
賀正

発行所
光町役場
匝瑳郡光町宮川5,454の5
電話横芝242・243

光ひかり



入選作品　＜つくもの朝＞　向後一郎写

年頭の辞
建設の慶び

町長　渥田五郎

あけましておめでとうございます。昭和三十六年の新春は文字どおりおめでたい心地で迎えることができました。

と申しますのが、懸案の中学校統合校舎建設がその緒につき、着々と進行しつつあるからです。

政治家にとっては、公約の実施こそは生命であります。小さいとはいえ光町の政治をお預りする身にとっても公約の実現は身に課された役目でございます。

二年半前、教育の刷新と産業土木の振興を方針の大綱にお約束し、町政をお預りして以来粉骨邁進しました。特に教育刷新の大眼目である中学校統合の実現については諸種の経緯はありながらも、各位の御理解と御協力により去る十一月十七日起工式、即日工事着工というところまで漕ぎつける段取りとなりました。

人づくりこそ、町づくりの、国づくりの大本であります。近隣におとらぬ教育施設の完成は、ただに私一人のみならず、光町合併当初からの計画であり、いうならば町全員の念願である筈です。

つぎに、通学・産業開発両面に必要な道路の新設、拡充・整備等も町財政の好機をみて、最も早い機会に実現をうつす計画であります。これらについては、重ねて関係各位の御協力を願わなければなりません。

なお、一言つけ加えますことは、ほかにも町政として実施したいことは多々ある訳ではありますが、いづれにしても光町にとっては空前絶後の大事業である教育の殿堂完成までは他の事業の一部は最低の線に忍んで頂かなければならぬことの現実であります。

それも、これも、町づくりの基礎である教育施設の完成ということで御理解願えるものと確信いたします。

以上所信を申し述べて昭和三十六年年頭の御挨拶といたします。

三十六年の新春を迎えるに当り

光町議会議長　伊藤幸太郎

明けましておめでとうございます。希望に輝く新春を迎え町民各位に謹んで御挨拶申上げます。顧りみますと当町が新らしく発足してから8年目に当り今や新町としての確固たる基盤がつくられ益々発展の一途をたどっております ことは誠に御同慶の至りでございます。特に本年は昨年みなさまの御理解ある御協力によりまして懸案の中学校統合が決まり、つち音高く建設が始まりました。やがて鉄筋三階建の堂々たる教育の殿堂が完成し充実した教育が期せられるものと確信いたします。

又新町新農計画による幾多の重要施策が本年も慎重審議を要請されるものと思いますが我々議会人は町民各位の要望にこたえ良識に基いて判断して住民福祉向上のために努力いたす所存でございます。幸いみなさまの暖い御支援と御鞭撻を頂けますればこれら幾多の事業がスクスクと芽ぶき、輝く陽光を浴びるとき光町の前途は洋々たるものと存じます。

実に今年こそは輝しい年となることを祈念して年頭の御挨拶といたします。

新しい村作りの息吹き
東陽白浜地区の土地改良

新しい村作りと云ふ事は農業に関係する団体農家と到る所で聞かれるが、農業振興には経営の改善も、新しい作物の導入も勿論必要な事であるが、農業の基本をなすものは土地であり村作りの第一は土地改良をあげなければなるまい。

光町の耕地は

水田　一、二三五町
畑　七三六町
計　一、九七一町

であるが、現在土地改良のなされたものは、日吉、南条両地区の水田六七九町であり下部地帯の

東陽　水田　三三八町
白浜　水田　二一八町

は一部の除外地を除いては全面的に大利根土地改良区に加入しては居るが、少数の水路のみで区劃整理は全然なされて居ない現状である。

この地帯の土地改良事業の促進については地区農家の久しく渇望して居た処であるが今回漸く機運が熟して、昨年秋十月十八日に、東陽白浜区劃整理準備委員会が結成され下部地帯の土地改良促進に力強い第一歩を踏み出した。

会発足と同時に先づ基本調査に乗り出し、部落毎に座談会を行い関係農家に趣旨諒解に努め、大利根土地改良区指導の計に整然たる区劃整理のされた良耕地により増産に躍進する農家を見るも一両年の内である。

この事業の促進によって目下の町の重大懸案である中学校通学道路の問題も併行して解決し得られる事であらう。

新教育委員に
実川茂氏

木戸一六七五(53)(農)

〈略歴〉
広島高等師範学校卒業
印旛郡成田小学校訓導、千葉師範学校教授
千葉県教育委員会主事
退官後、八日市場市教育長、昭和三十二年辞任、農業従事
辻区長、光町農業委員を経て昭和三十五年十二月光町教育委員に任命。

不老長寿の秘決

編集長から〝長寿の秘決〟に就き知れることを述べよと厳書なる御命令である。飛騨山中の仙人に聞いたとて「俺は知らん」と答えるだろう。ましてそこらの馳け出しが何で斯様な大それた難題に応え得ようか。あきれたものである。ともあれ紙面を埋めねば公傷員として不忠な輩と云う誇りを免れ得まい。そこで赴任以来8ヶ月、気がつき、考えたことを書き責を果し度く思うのである。平均寿命が男性62才女性68才と延びた昨今死亡原因の首位を占めるのは高血圧に依る脳卒中、癌であって光町に於ても同様の傾向が見られる。癌相談に来る患者さんの中で手遅れとなった胃癌の方を時々見かけるが、せめて三ケ月前に来て下さればと悔まれてならぬ。40才を越したら免も角も健康相談を行う様にしたら如何であろうか。まして相当前から胃症状があり乍ら売薬を服んで其の場凌ぎをする。富山の薬と心中するのは馬鹿らしいちゃありませんか。住民検診で歩き廻り気が附いたこととして心電図異常な高血圧者が可成り多く見られたこと。之は日本に於ける農村高血圧の特長である。その理由を書く紙面が無いが早期に医師の診療を受け適当に降圧剤を使用すれば可成り防ぎ得ると思うのだが如何。高血圧で注射をしたり薬を服んだりしている人でも、日常の食物の塩分に注意を向けて居る人は案外少ない。左様ここまで考えを進めて来ると食生活の改善こそ長寿の秘決と云えそうである。

国保東陽病院副院長
医学士　木村和夫

日本人が毛唐に比べて胃癌、脳率中の多い点、反射的に頭に浮び上って来るのは米食との関係であり胃癌の多い地域として越後平野、庄内平野等、所謂米どころなのである。亦之等の地域で特に摂取量の少ない栄養素として、動物性蛋白質、ビタミンB1、カルシュウム等であり、之等の間に何らかの因果関係があると考えられている。その点乳製品は之等不足する栄養素を総て備えて居り米の多食を防ぎ、ひいては高血圧、癌の予防となるのである。社会党のスローガンでは無いが日本人が一日3合の牛乳を飲む様になったら胃潰瘍、胃癌等の消化器病、高血圧病の病像は可成り変って来るに違いない。しかし牛乳3合は買えば45円、月にして一、三五〇円である。一年貯めれば関西旅行に行け、お召しの着物が着られる。しからば山羊乳は如何、動脈硬化症等に効くオロトン酸を牛乳の倍近く含んで居り亦光町の地理的条件から云って甚だ得易いものと考えるのだが町の各地に山羊の啼声が聞かれ長寿者が増し、平和で健康な町の光景がのぞめたらと考えるのは馬鹿者の見る初夢であろうか。

ひかり広報入選

市町村広報紙コンクールは例年県主催で行はれて来たが、本年度コンクールが昨年十一月十五日に行はれ、幸ひにも本紙「三月号」が町村の部三位に入賞する事ができましたのでお知らせいたします。